

2015年1月15日 全8頁

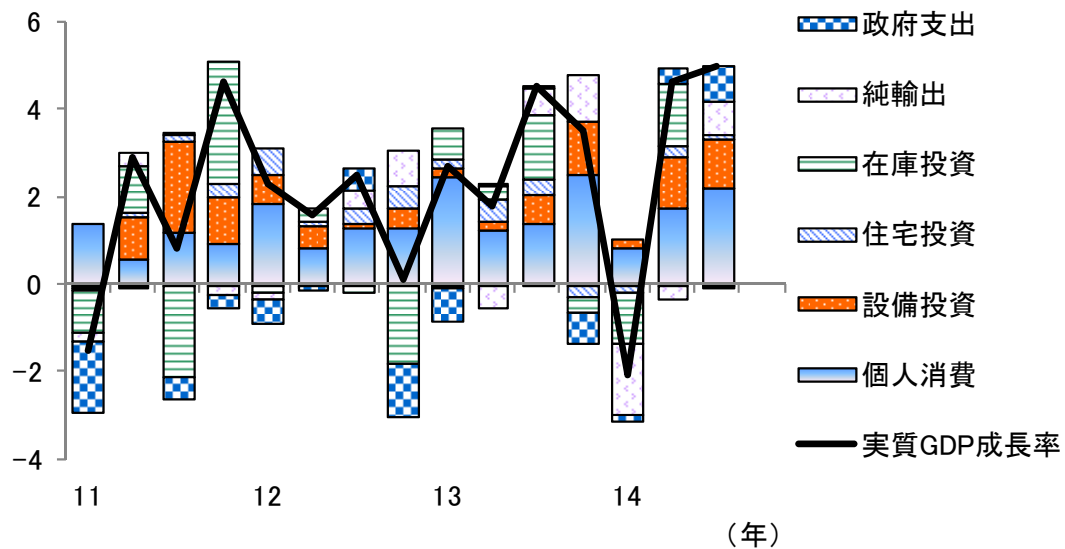
# アメリカ経済グラフポケット (2015年1月号)

2015年1月12日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター 上野 まな美  
シニアエコノミスト 土屋 貴裕

## 実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



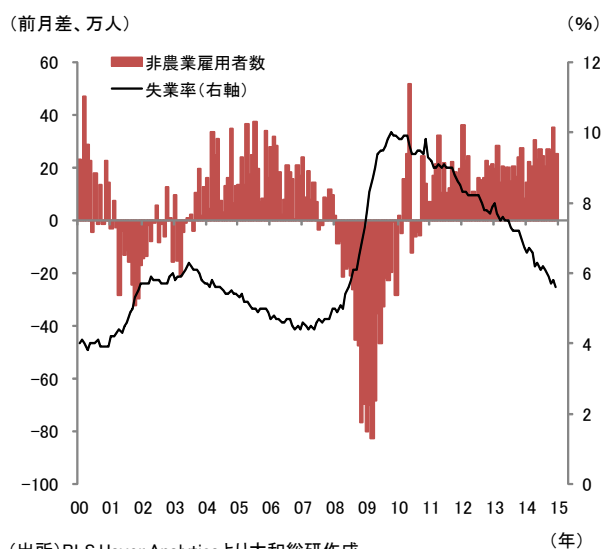
(前期比年率、%、%pt)	2012	2013				2014		
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
国内総生産	0.1	2.7	1.8	4.5	3.5	-2.1	4.6	5.0
個人消費	1.9	3.6	1.8	2.0	3.7	1.2	2.5	3.2
設備投資	3.6	1.5	1.6	5.5	10.4	1.6	9.7	8.9
住宅投資	20.4	7.8	19.0	11.2	-8.5	-5.3	8.8	3.2
政府支出	-6.0	-3.9	0.2	0.2	-3.8	-0.8	1.7	4.4
輸出	1.5	-0.8	6.3	5.1	10.0	-9.2	11.1	4.5
輸入	-3.5	-0.3	8.5	0.6	1.3	2.2	11.3	-0.9
寄与度								
個人消費	1.3	2.5	1.2	1.4	2.5	0.8	1.8	2.2
設備投資	0.4	0.2	0.2	0.7	1.2	0.2	1.2	1.1
住宅投資	0.5	0.2	0.5	0.3	-0.3	-0.2	0.3	0.1
在庫投資	-1.8	0.7	0.3	1.5	-0.3	-1.2	1.4	0.0
政府支出	-1.2	-0.8	0.0	0.0	-0.7	-0.2	0.3	0.8
輸出	0.2	-0.1	0.8	0.7	1.3	-1.3	1.4	0.6
輸入	0.6	0.0	-1.4	-0.1	-0.2	-0.4	-1.8	0.2

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

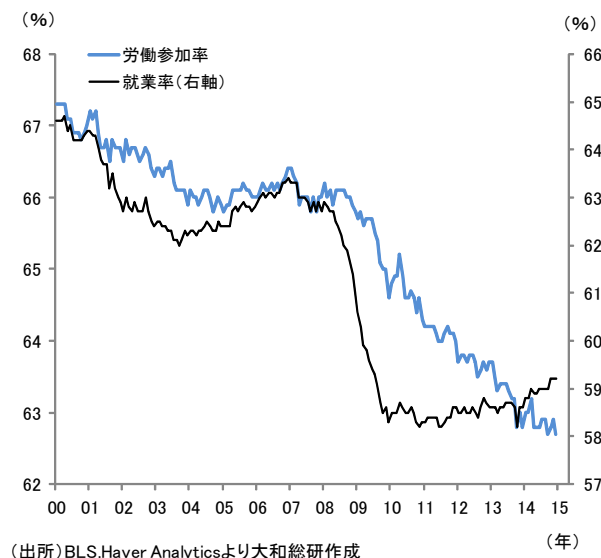
## 雇用環境<sup>1</sup>

- ◆ 2014年12月の失業率は5.6%と、前月から0.2%ポイント低下し、2008年6月以来の低水準を記録した。
- ◆ 非農業雇用者数の前月差は25.2万人となり、大幅に増加した前月から減少したものの、11ヵ月連続で20万人を超した。雇用者数は着実に増加しているものと見られる。非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は、26.4万人増であった。

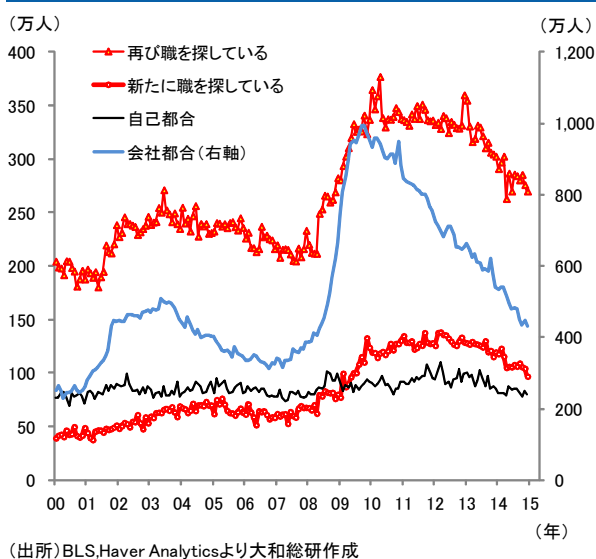
### 非農業雇用者数と失業率



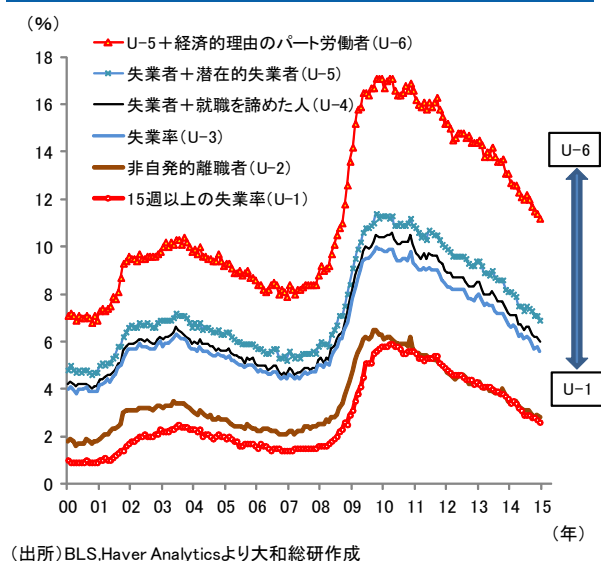
### 労働参加率と就業率



### 理由別失業者数



### 定義別失業率

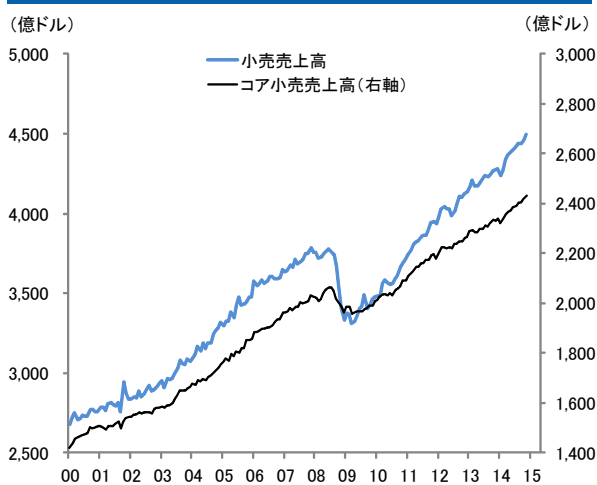


<sup>1</sup> 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 土屋貴裕「米雇用者数は着実に増加し失業率は低下」(2015年1月13日)参照。[http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20150113\\_009335.html](http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20150113_009335.html)

## 個人消費

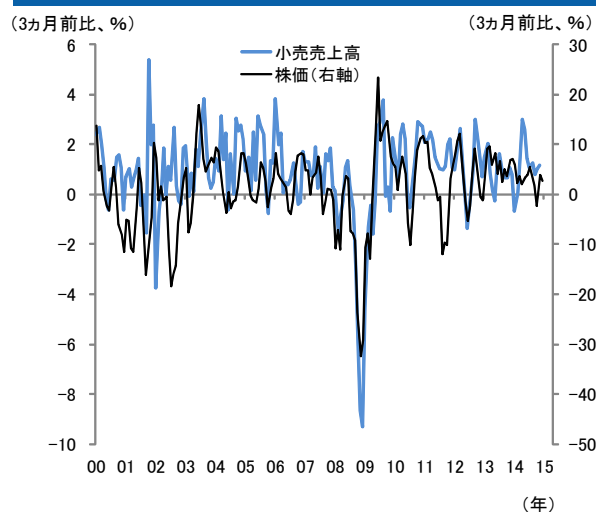
- ◆ 2014年11月の小売売上高は前月比0.7%増で、コア小売売上高は前月比0.6%増であった。両指標ともに、トレンドとして増加傾向が続いている。
- ◆ 12月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の88.8から93.6に上昇し、5ヵ月連続で上昇した。ガソリン価格の下落や雇用見通しの改善などから消費者心理が押し上げられ、2007年1月以来の高水準となった。
- ◆ 12月の自動車販売台数は前月比1.7%減で、年率換算では1,692万台であった。3ヵ月ぶりに減少に転じた。

### 小売売上高の推移



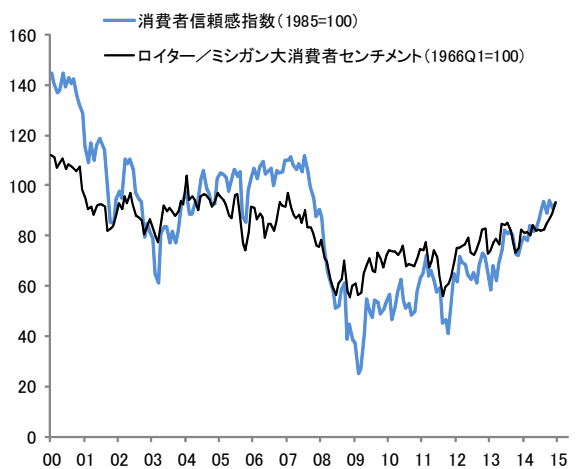
(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、建材・園芸、飲食サービスを除く。  
(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

### 消費と株価



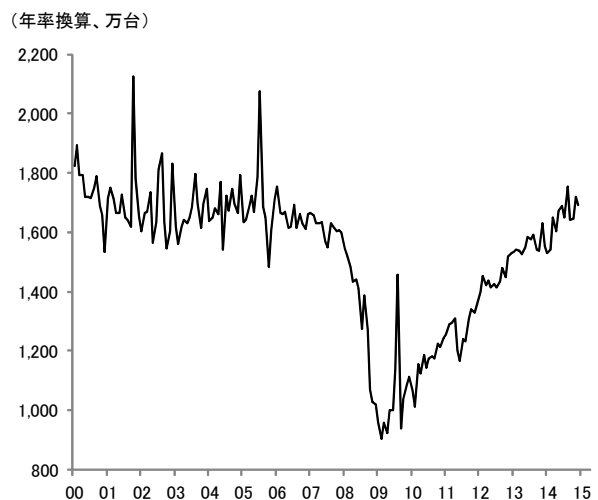
(注) 株価はWilshire5000。  
(出所) Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

### 消費者マインド



(出所) ロイター/ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより大和総研作成

### 自動車販売台数

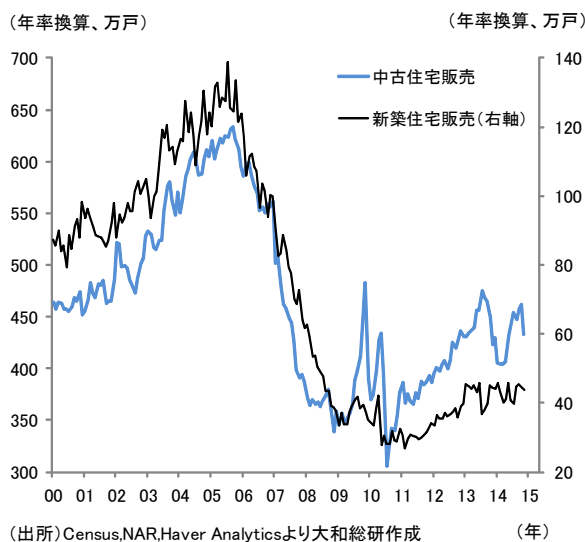


(出所) Autodata, Haver Analyticsより大和総研作成

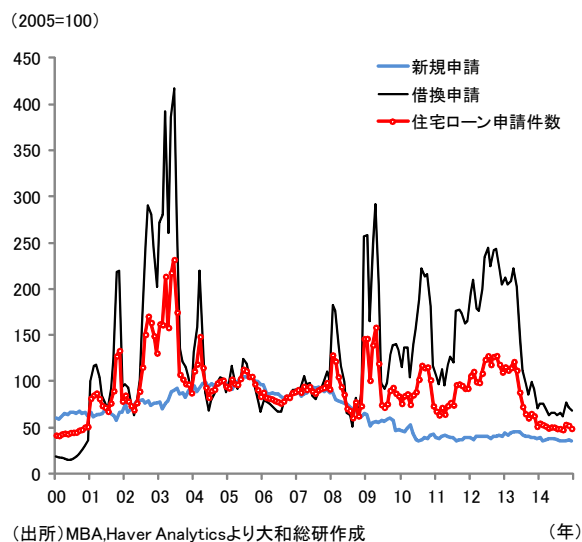
## 住宅市場

- ◆ 2014年11月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比1.6%減少し、年率換算で102.8万戸であった。集合住宅の着工は増加したものの、一戸建ての着工減が響き、全体の減少につながった。
- ◆ 11月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比6.3%減、年率換算433.0万戸であった。高水準を記録した前月から3ヵ月ぶりに減少し、5月以来の低水準となった。
- ◆ 11月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比1.6%減、年率換算で43.8万戸であった。2ヵ月連続で減少した。
- ◆ 10月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は、前月比で0.8%上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。

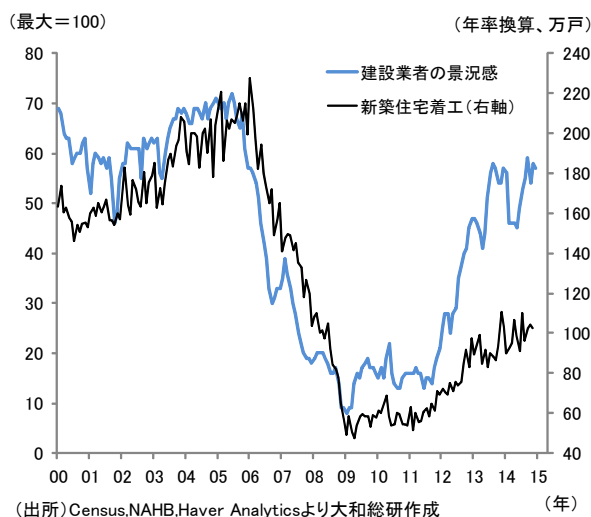
### 住宅販売（一戸建て）



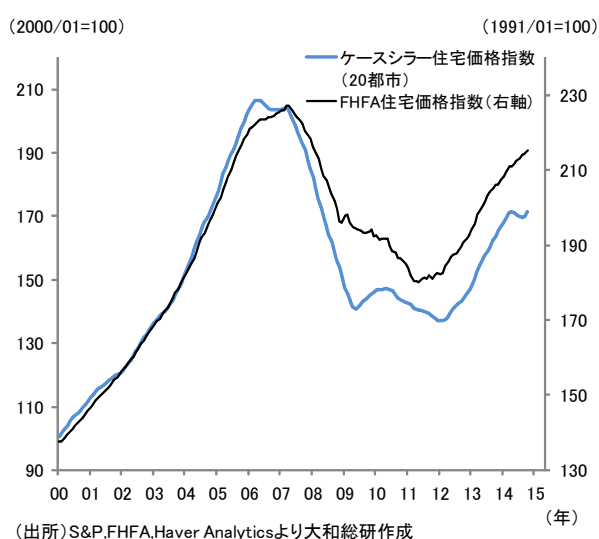
### 住宅ローン申請件数



### 住宅着工と建設業者の景況感



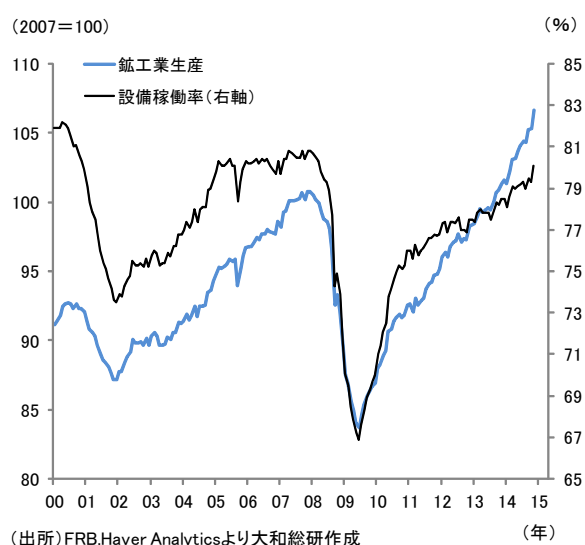
### 住宅価格



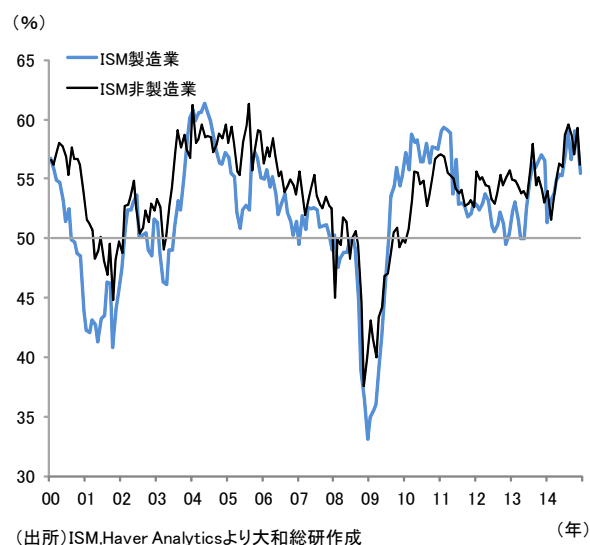
## 企業動向

- ◆ 2014年11月の鉱工業生産指数は、前月比1.3%上昇し、2010年5月以来の大幅な伸びとなった。指数全体の約75%を占める製造業も2月以来の好調な伸びを示し、同1.1%上昇した。
- ◆ 11月の国防・民間航空機を除く資本財受注は、前月比0.5%減で、3ヵ月連続で減少した。
- ◆ 12月のISM製造業指数は、前月比3.2%ポイント低下の55.5%であった。非製造業指数も同3.1%ポイント低下の56.2%であった。両指標ともに6月以来の低水準となったが、景気の拡大・縮小の分岐点である50%を上回る水準を維持している。

### 鉱工業生産と設備稼働率



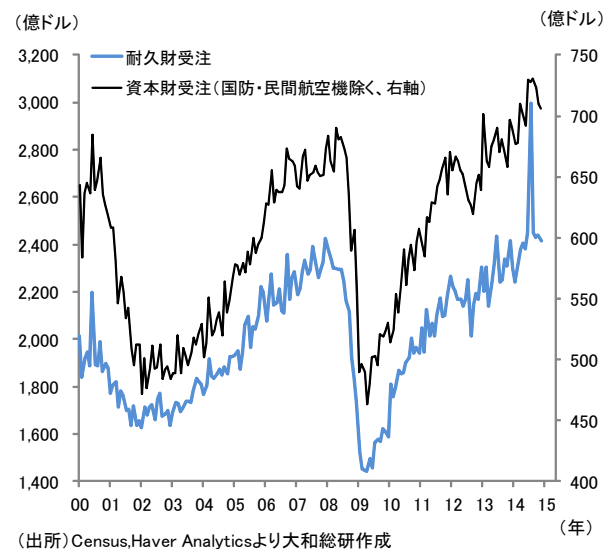
### 企業の景況感



### 製造業の出荷・在庫



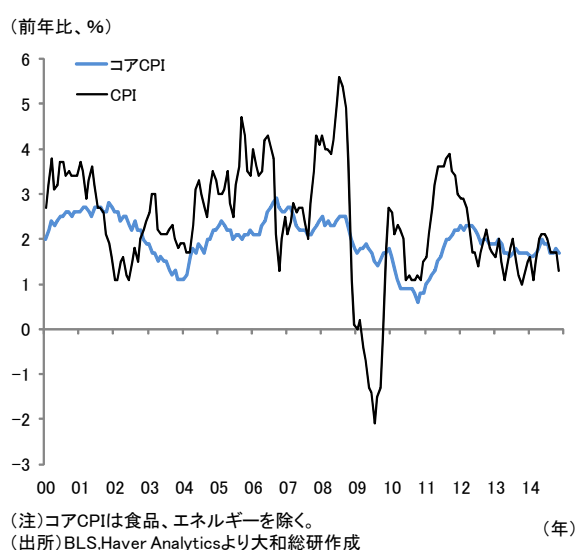
### 耐久財受注



## 物価動向

- ◆ 2014年11月のCPI（消費者物価指数）は、前年比1.3%上昇し、コアCPIも同1.7%上昇した。インフレ率がFRBの長期目標である2%を下回る水準が続いている。
- ◆ 12月の2年先及び5年先期待インフレ率は低下した。原油価格の下落やドル高などにより、3ヵ月連続で期待インフレ率が低下している。
- ◆ 12月末のWTI原油先物価格は53.27ドル/バレルと、11月末の66.15ドル/バレルから更に下落した。世界的な原油の供給過多及び需要低下が予測され、原油先物価格の下落が続いている。WTI原油先物価格は、月末値で2009年4月末以来の安値を更新した。

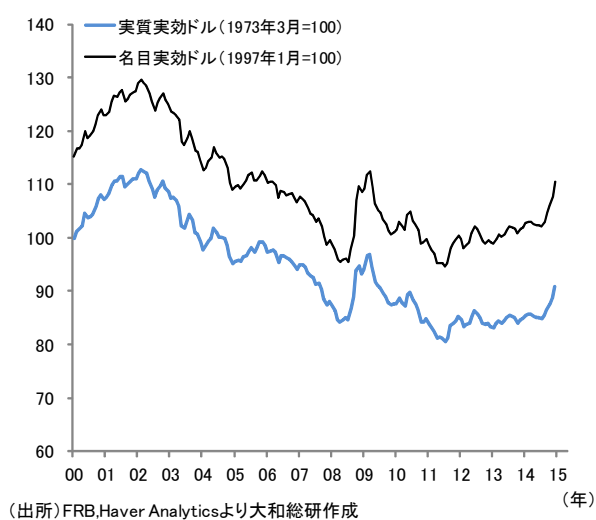
### 消費者物価指数



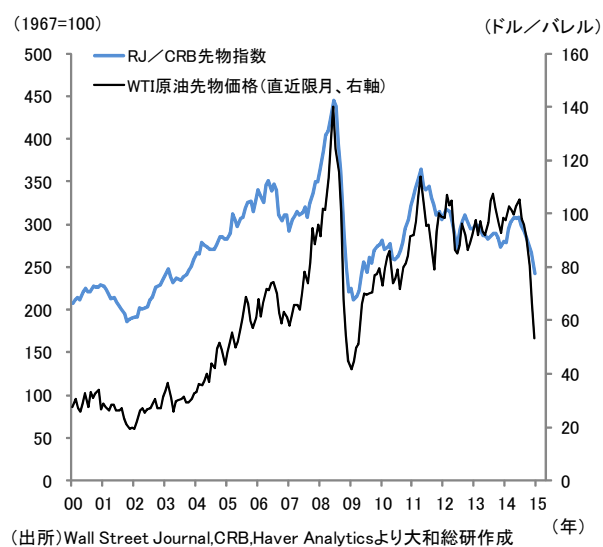
### 期待インフレ率



### 実効為替レート(ブロード)



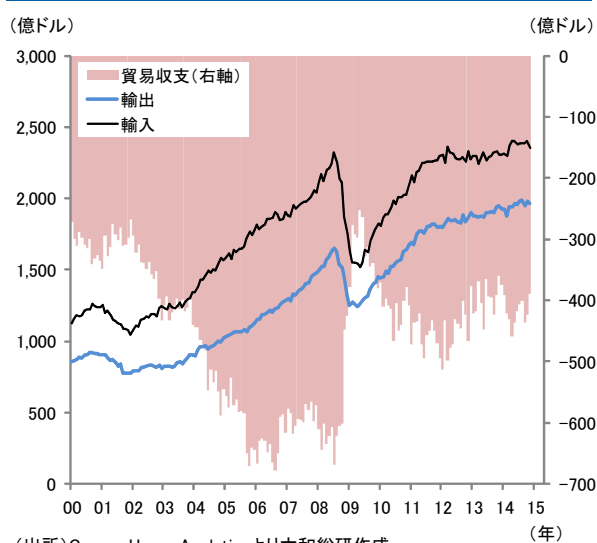
### コモディティ価格



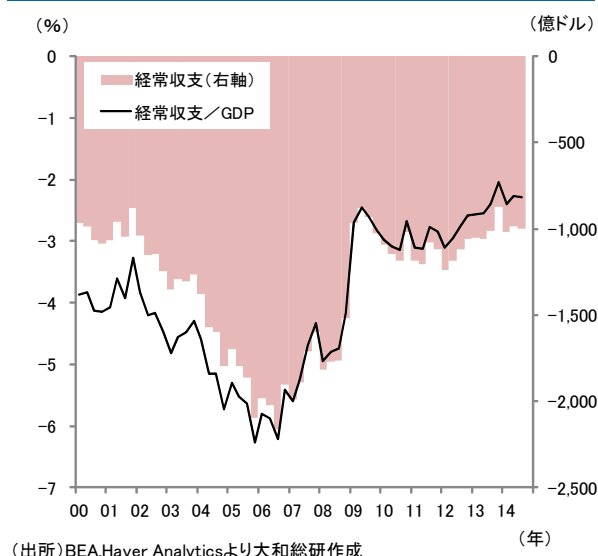
## 輸出入・経常収支

- ◆ 2014年11月の貿易収支(財・サービス)は、輸出が前月比1.0%減少し、輸入も前月比2.2%減少した。輸出は、民間航空機などの資本財が減少し、輸入においては、原油を主とする工業製品・原料が減少した。貿易収支の赤字は前月比7.7%減、約390億ドルに縮小し、2013年12月以来の低水準となった。
- ◆ 地域別(財)では、日本向けの輸出が前年比13.2%減と大きく減少し、中国向けは同6.7%減、欧州向けも同3.1%減少した。輸入は、中国からの輸入が前年比5.0%増、欧州からの輸入も同1.5%増であったが、日本からの輸入は同8.7%減となった。減少が続いていた日本からの輸入は、先月、13ヵ月ぶりに前年比で増加したが、再び減少に転じた。

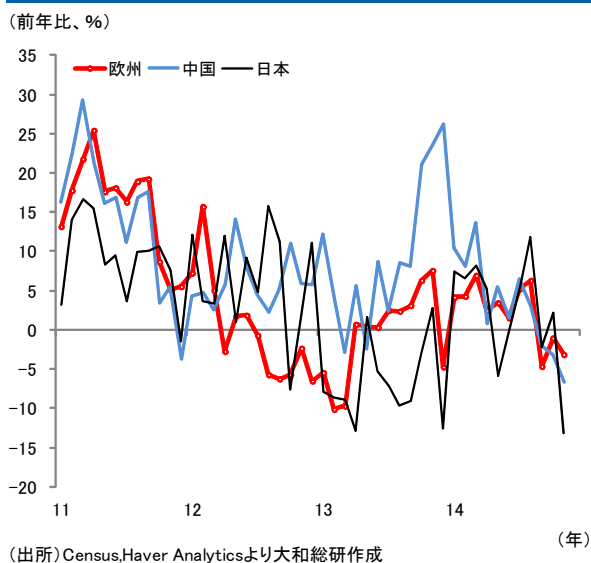
### 貿易収支動向



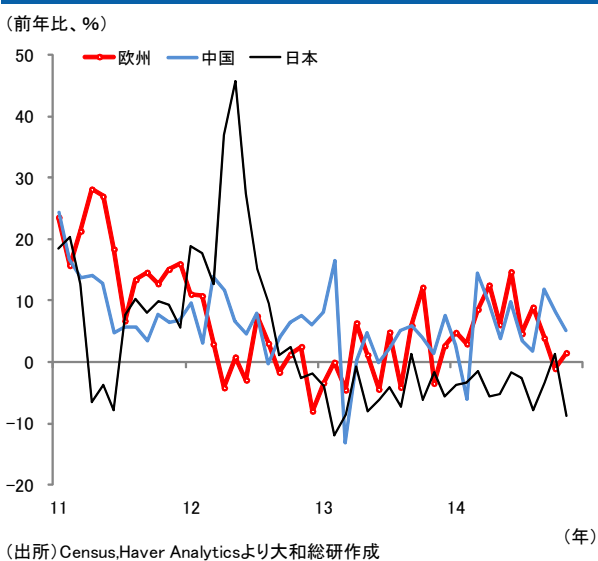
### 経常収支の推移



### 国・地域別輸出動向



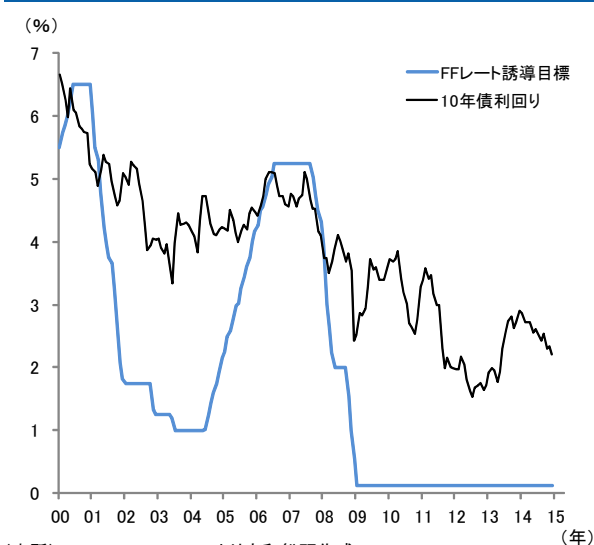
### 国・地域別輸入動向



## 金融・財政

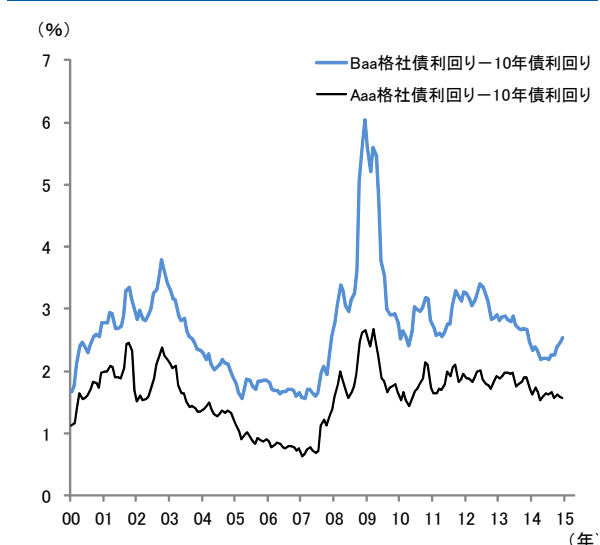
- ◆ 2014年12月の長期金利（10年債利回り）の平均値は2.21%となり、2013年5月の平均値以来の低水準となった。世界経済の成長懸念やロシアの通貨不安、原油価格の下落による期待インフレ率の低下などから国債価格が上昇し、長期金利が低下傾向にある。
- ◆ 12月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、事実上のゼロ金利政策の据え置きと、保有する資産規模の維持が決定された。FRBの資産残高は、直近の2015年1月7日の週平均が約4兆5,400億ドルであった。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、トレンドとして赤字幅が縮小している。

### 政策金利・長期金利



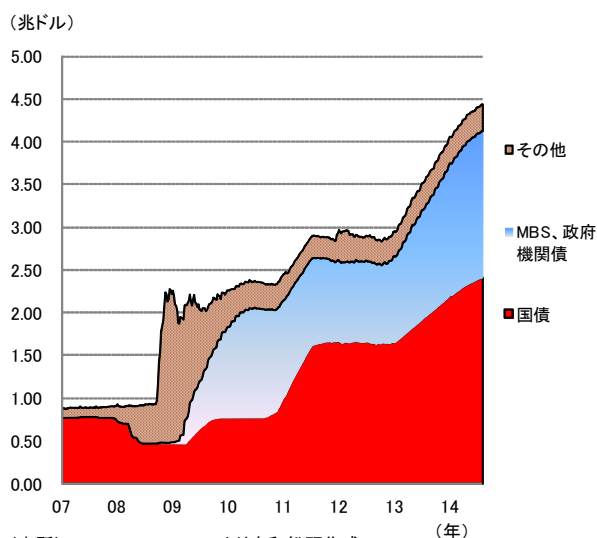
(出所)FRB,Haver Analyticsより大和総研作成

### クレジットスプレッド



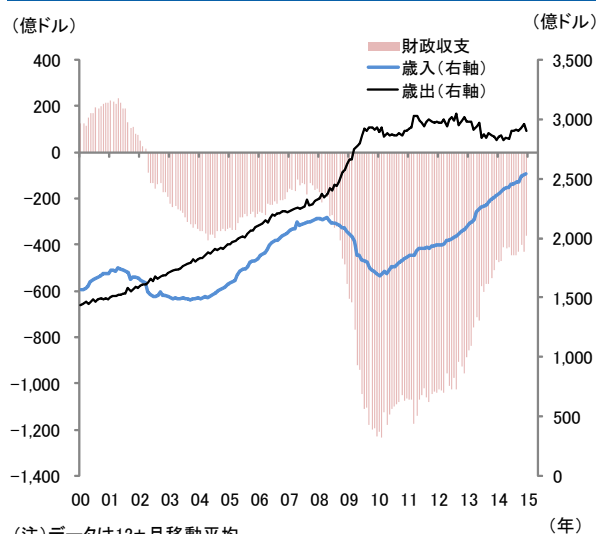
(出所)FRB,Haver Analyticsより大和総研作成

### FRBの資産構成



(出所)FRB,Haver Analyticsより大和総研作成

### 連邦政府の財政収支



(注)データは12ヵ月移動平均。

(出所)米財務省,Haver Analyticsより大和総研作成